

教科名	中学校 英語科	学 年	3学年			
単元名	Lesson6 “Why do We Have to Work?”	生徒数	26名			
		授業者	関谷昂二郎			
1 「深い学び」に向かう子どもの姿						
① 知識を相互に関連付けてより深く理解しようとする姿						
③ 問題を見いだして解決策を考えようとする姿						
2 単元の目標と観点別評価規準						
・話し合い活動において、相手の意見の要点を聞き取り、自分の考えを整理しながら自分の意見を述べることができる。						
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
<ul style="list-style-type: none"> 意見を述べるときの基本的な表現を理解している。(SI) 日常的または社会的な話題について、意見を述べるときの基本的な表現を利用して伝え合う技能を身に付けている。(SI) 	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについての他者の意見を知り自分の意見や考えを伝えるために、話を聞いて、要点を捉えている。(L) 相手の意見を聞いて自分の意見を深めたり、自分の意見を伝えたりするために、日常的または社会的な話題について自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。(SI) 	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについての他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、話を聞いて要点を捉えようとしている。(L) 相手の意見を聞いて自分の意見を深めたり、自分の意見を伝えたりするために、日常的または社会的な話題について自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。(SI) 				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> L:聞く R:読む W:書く SP:話すこと〔発表〕 SI:話すこと〔やり取り〕 </div>						
3 単元で働かせる見方・考え方						
外国語やその背景にある文化を理解して、話し合い活動にて意見を述べるときの表現に着目し、相手の意見を聞いて自分の意見を深めたり、伝えたりするために、自分の意見を整理しながら考えを形成し、再構築する。						
4 パフォーマンス課題（ペアでの話し合い）						
10個のトピックから無作為に3つ選び、それについてペアで意見を伝え合おう。						
※ トピックは単元計画の1時間目に予め提示しておき、授業内で準備・練習を行う。						
5 ルーブリック						
Interaction	A: 準備したプリントを見なくても、相手と意見を伝え合っている。 B: 準備したプリントを見ながら、相手と意見を伝え合っている。 C: 準備したプリントを見ても、相手と意見を伝え合っていない。					
Accuracy	A: 適切な表現方法を使い、会話を続けている。 B: 表現方法に多少の誤りがあるが、相手と意思の疎通ができる会話をしている。 C: 表現方法に誤りが多く、情報が伝わっていない。					
Reaction	A: 相手の意見について、相づちを打ったり、それに対しての自分の考えや感想を伝えたりしながら反応を示している。 B: 相手の意見について、相づちを打つなどの反応を示している。 C: 相手が話をして、反応を示さず、自分の意見を伝えるだけになっている。					
6 ICTの活用の場面と工夫						
パフォーマンステストに向けての練習の中で、話し合い活動の様子を動画で撮る。声の大きさ、発音、相づちなどの反応を客観的に見ることで、改善へつなげる。また、ロイロノートの付箋機能を利用し、子どもたちが出し合った「相づち表現」を共有することで、自分の話し合い活動に生かすことができるようにする。						

7 単元の指導と評価の計画（全8時間）		
時間	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	Part 1 ◆話合いの始め方、自分の意見の言い方について理解する。 ○ 導入での言語活動や、プリントを用いての練習問題、話合い活動 ★パフォーマンス課題・ルーブリックの提示 （3つのテーマ決め）	【知・技】 ・話合いの始め方と自分の意見の言い方について理解している。 （プリント、観察）
2	Part 1 ◆話合いの始め方、自分の意見の言い方を使って話合いをする。 ○ Lesson6-1 教科書本文を用いての新出単語、重要表現や重要語句の確認	【思・判・表】 ・前時の内容を踏まえて、自分の考えを簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。（観察）
3	Part 2 ◆相手への話の振り方、話し始めのワンクッションの言い方について理解する。 ○ 導入での言語活動、プリントを用いての練習問題、既習事項との関連付けを通しての定着、話合い活動	【知・技】 ・重要表現を理解し、意見を述べるときの基本的な表現を利用して伝え合う技能を身に付けている。 （プリント、観察）
4	Part 2 ◆相手に話を振りながら、話合いをする。 ○ Lesson6-2 教科書本文を用いての新出単語、重要表現や重要語句の確認	【思・判・表】 ・前時の内容を踏まえて、他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために話を聞いて、要点を捉えている。（観察） 【態度】 ・他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、話を聞いて要点を捉えようとしている。（観察）
5	Part 3 ◆相手の意見への賛成・反対の仕方、理由の述べ方を理解する。 ○ 導入での言語活動、プリントを用いての練習問題、話合い活動	【態度】 ・今までの内容を踏まえつつ、重要表現を使って相手の意見に対しての自分の意見を伝えようとしている。 （プリント・観察）
6	Part 3 ◆相手の意見に対しての自分の考えを述べる。 ○ Lesson6-3 教科書本文を用いての新出単語、重要表現や重要語句の確認	【思・判・表】 ・前時の内容を踏まえて、自分の考えを簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。（観察）
7	Tips 7 for Speaking ◆即興で自分の意見を伝えよう。 ○ 教科書 Tips を参考にしながら、即興で自分の意見を伝える活動 ★ルーブリックの活用・ICTの活用	【思・判・表】 ・会話をする際のポイントに気を付けながら、事実や考えを即興で伝えている。（観察）
8	◆Lesson6 まとめよう。 ★パフォーマンス課題（ペアでの話合い） ○ パフォーマンステスト ○ 振り返りと今後の取組の確認	【思・判・表】 ・相手の意見を聞いて自分の意見を深めたり、自分の意見を伝えたりするために、3つの話題について自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。（観察）